

生態工学 2013 年第 3 回理事会議事録

日 時：2014 年 2 月 24 日（月）14:30～15:20

場 所：東京文化会館

出席者：会長、副会長、各委員会委員長および庶務理事

【総務委員会】

2013 年度生態工学会 第 3 回理事会

- (1) 会員数・賛助会員数に関して報告があった。
- (2) 審議事項
 - ・後援および協賛に関して
下記の会に対して後援および協賛する事が了承された。
 - ・「太陽光植物工場の高精度環境調節を可能にする植物生体情報計測」
主催：日本学術会議 農学情報システム学分科会
 - ・「宇宙技術および科学の国際シンポジウム」
主催：宇宙技術および科学の国際シンポジウム組織委員会
 - ・日本農業工学会 30 周年記念功績賞推薦依頼について
新田慶治先生（名誉顧問）を生態工学より推薦する事となった。
 - ・農業環境工学関連学会 2015 年大会協賛金に関して
分担金 10 万円を支払う事が了承された。
 - ・学会誌バックナンバーの保管に関して
当該年度以前のバックナンバーに関して、上限を 10 部として余剰在庫は破棄する事となった。
 - ・会員の増加対策に関して
シンポジウム等の参加費徴収の際に、入会特典等を総務委員会にて検討する事となった。
- (3) 報告事項
 - ・「ゴールドシュミット会議 2016」後援・協賛依頼に関して承諾した。

以上

【編集委員会】

2013 年度編集委員会活動報告(2 月期)

1. 生態工学会誌の発刊

下記の報告がなされた。

生態工学会誌「生態工学」25 巻 2 号～26 巻 1 号(2013 年 4 月、7 月、10 月、2014 年 1 月発刊)を発行した(内容：特別寄稿 2、原著論文 9、ニュース・企画・報告・お知らせ、投稿規程、総ページ 100)。

また、25 巻 4 号までを J-STAGE 上の電子ジャーナルとして公開した。

2013 年度「生態工学」掲載論文一覧

種類	第 25 巻			第 26 巻
	2	3	4	1
特別寄稿			1	1
特集論文				
原著論文	2	2	3	2
短報				
総合論文				
解説・資料				
受賞記念寄稿				
ニュース・企画・報告	1	1	1	1

以上

【企画委員会】

2013 年度企画委員会活動報告(2 月期)

下記の報告がなされた。

- (1) 日本地球惑星科学連合2013年大会（合同開催）
日 時：2013年5月19日（日）～24日（金）
会 場：幕張メッセ（千葉市）
主 催：日本地球惑星科学連合
セッション参加人数： 30名
特記事項：5月19日（日）にセッション「惑星と閉鎖生態系における生物のシステム—微生物からヒトまで」において、5件の口頭講演と5件のポスター発表を実施した。

- (2) 2013年度生態工学会年次大会（主催）
日 時：2013年6月29（土），30（日）
会 場：玉川大学視聴覚センター（東京都町田市）
特別協賛：根研究学会
参加人数：92名
特記事項：一般セッション口頭発表 21課題、ポスターセッション21課題
特別講演会「生態工学における生物機能の利活用」
「ミツバチは環境指標生物か」 中村 純(玉川大学学術研究所教授)
「生態系サービス機能からみた樹木の根系」 平野 恭弘(名古屋大学大学院 准教授)
「LEDを光源とした野菜生産システムの開発」 渡邊 博之(玉川大学農学部教授)
施設見学会
(1) 植物工場研究施設（FSTラボ）
(2) LED野菜生産施設（LED農園）
(3) ミツバチ科学研究施設

- (3) 第57回宇宙科学技術連合講演会（共催）
日 時：2013年10月9日（水）～11日（金）
会 場：米子ビッグシップ（米子市）
主 催：日本航空宇宙学会
セッション参加人数： 30名
特記事項：オーガナイズドセッション「宇宙で生きる！ ～人類居住環境の多様化～」を企画し、10日(木)に13件の口頭発表を実施した。

- (4) 第6回生態工学定例シンポジウム・第3回陸上養殖勉強会合同シンポジウム（共催）
日 時：2013年11月8日（金）13：00～17：00 情報交換会 17：15～19：00
会 場：東京海洋大学品川キャンパス白鷹館2F多目的スペースI（東京都港区港南）
テ ー マ：資源循環利用型生物生産と閉鎖循環式養殖システム
参加人数：85名（生態工学会・陸上養殖勉強会会員 33名、一般 46名、学生 6名）
特記事項：以下の6件の講演を実施し、活発な質疑が行われ盛会であった。

「生態工学会と陸上養殖勉強会のこれまでの活動状況及び陸上養殖について」	竹内俊郎（海洋大）
「農業・食品分野におけるLCAの近年の動向」	林 清忠（農研機構）
「生態工学的視点から見た水産養殖施設の設計事例－微細藻類と陸上養殖施設－」	増田篤稔（ヤンマー株）・遠藤雅人（海洋大）
「未来産業型農業の展開－陸前高田と震災復興－」	阿部隆昭（株グランパ）
「アクアポニックス（水耕養殖）－海外での取り組みと日本の現状－」	野原節雄（株IMT）
「陸上養殖とクルマエビ類微生物感染症について」	廣野育生（海洋大）

(5) 定例研究会

第1回

テーマ：東日本大震災による被災農地の再生デザイン

日 時：2013年5月31日（金）

会 場：東京文化会館

講 師：土肥哲哉先生（理化学研究所）

第2回

テーマ：先進的技術の農業現場への導入－メタン発酵と農業－

日 時：2013年11月1日（金）

会 場：東京文化会館

講 師：相原秀基先生（株和郷）

第3回

テーマ：音・音楽の生態効果に関する研究の動向と展開

日 時：2014年2月24日（月）

会 場：東京文化会館

講 師：田村治美先生（国際基督教大学）

【広報委員会】

2013年度広報委員会活動報告(2月期)

下記の報告がなされた。

2013年度活動報告

・SEE Quick 配信（メール配信）の運営

SEE Quick 配信依頼に対する取り扱い方法の運用を通して、会員並びに関連学会からの情報の速やかな配信業務が成し遂げられ2013年5月10日から2014年2月19日までに122回（通算876回）情報提供を行った。今後もSEE Quickの配信業務を行いながら、問題点などを検証し改善に努める。

・HPの内容の更新

HPの内容のうち、更新が遅れている部分のチェックを行った。また、他学会等のHPと内容を比較した。

以上

【表彰委員会】

2013年度 表彰委員会活動報告(2月期)

2014年度生態工学会学会賞受賞候補者の選考結果について
下記の報告がなされた

1. 受賞候補者の募集
 - 募集期間：2013年4月1日～10月31日（学会誌，学会ホームページ）
 - 募集結果：推薦4名（学術賞1名，論文賞1名，奨励賞2名）
2. 表彰委員による選考
 - 選考期間：2014年1月30日～2月13日
 - 選考結果：下記のように決定した。

賞種類	氏名	対象件名
生態工学会賞 学術賞	中林 和重	植物生体電位を用いた植物の貧栄養診断法と光照射による栄養改善法の研究
論文賞	宮嶋 宏行	「月面移動探査のための分散型生命維持システムの運用」に関する一連の研究
奨励賞	小倉 裕司	粘土鉱物の荷電特性を利用したトマトの水耕栽培
奨励賞	寺尾 卓真	マイクロコズムにおける空間効果：個体ベースモデルによる2種の分解者の共存と生物体量振動現象の解析

以上

【次世代科学社会活性化委員会】

2013年度 次世代科学社会活性化委員会活動報告(2月期)

下記の報告がなされた。

昨年度と同様、男女共同参画学協会連絡会シンポジウム(2013年10月7日開催)に参加し、ポスター発表を行った。

当委員会は、現在科学者を目指す若者らに生態工学に興味を抱いてもらえる方法について検討している。

以上

【関西支部報告】

関西支部会運営状況に関する報告と審議事項

関西支部長 増田篤稔

下記 1. 2 の報告がなされた。また 3 に関して理事会はこれを承認した。

1. 概要

関西支部では、学会会員増強のため平成 24 年度より日本農業気象学会近畿支部との共催によるシンポジウムを行ってきた。概要を以下に示す。

- 1) 平成 24 年度は、関西支部に在籍する生態工学会員による講演のため、謝金や交通費は無し（講演者のボランティア）で行ってきた。
- 2) 平成 25 年度は、シンポジウムでの講師陣を生態工学会で賄うことができず、外部の方への講演依頼となり、謝金や交通費などの実費負担を伴うようになった。
- 3) 今後、会を重ねるに際して、関西支部独自に集金システムを整えることが、会支部会員および賛助企業会員(関西は、ダイキン、ヤンマーの 2 社)では困難になっている。
- 4) 日本農業気象学会近畿支部との共催は、講演内容の充実、参加人数確保の上で必須である。また日本農業気象学会近畿支部の方針は、シンポジウムを公開（参加費無料）で行うことであり、当支部も賛同している。

2. 開催シンポジウム

1) 第一回合同シンポジウム

日時：2012 年 12 月 1 日（土） 14:00～17:00

場所：大阪府立大学学術交流会館

内容：「光環境と生物」

1. 人工光源とその生物への応用－各種光源の特徴およびそのリサイクル（生態工学会依頼）齋藤直樹（元 松下電工）
2. 人工光源とその生物への応用－動植物への人工光の利用（生態工学会依頼）向阪信一（向阪技術事務所）
3. 光質制御による植物の自己防御能力の向上（農業気象学会依頼）渋谷俊夫（大阪府立大学）
4. 多様な光環境下に生育する C 3 芝群落の光合成および成長衰退（農業気象学会依頼）松浦隆志（大林組、技術研究所）

2) 第二回合同シンポジウム

日時：2013 年 11 月 30 日（土） 14:00～17:00

場所：大阪府立大学 I-site なんば

内容：「生態系におけるバイオマス－自然生態系から都市圏生態系まで」

1. 「北極域における環境変動と炭素収支（農業気象学会依頼）－温暖化は生態系バイオマスを増加させるか？」植山雅仁（大阪府立大 生命環境科学研究科）
2. 「様々な植生の生態系フラックスとバイオマス－熱帯雨林から芝群落まで－」（農業気象学会依頼）小杉緑子（京都大 農学研究科）

3. 「関西電力 木質バイオマス資源利用への取組み」(農業気象学会依頼)
松村宏治(関西電力㈱ 電力技術研究所 環境技術研究センター)
 4. 「都市域で発生するバイオマスの利用」(農業気象学会依頼)
瀬山智博(大阪府立環境農林水産総合研究所 環境研究部)
- 17:30 頃～ 《情報交換会》

3. 審議依頼事項

支部活動における資金補助を学会本部より行い、運営を安定化させる。運営資金は、謝金 15 千円/人×2 名、近距離交通費は謝金に含む。交通費が謝金より超過する講師は、原則呼ばない。従って、3 万円/年の運営費の支給の審議検討をお願いいたします。

以上

【企画委員会】

企画委員会 2014年度活動計画（案）

下記の報告がなされた。

2014年度は以下の企画を予定している。

(1) 日本地球惑星科学連合2014年大会（合同開催）

日 時：2014年4月28日（月）～5月2日（金）

会 場：パシフィコ横浜（横浜市）

主 催：日本地球惑星科学連合

特記事項：セッション「惑星と閉鎖生態系における生物のシステム—微生物からヒトまで」を開催予定

(2) 2014年度生態工学会年次大会（主催）

日 時：2014年6月27日（金），28日（土）

会 場：プラサ ヴェルデ（静岡県沼津市）

(3) 生態工学定例シンポジウム（主催）

日 時：2014年11月（予定）

会 場：未定

(4) 第58回宇宙科学技術連合講演会（共催）

日 時：2014年11月12日（水）～11月14日（金）

会 場：長崎ブリックホール（長崎市）

主 催：日本航空宇宙学会

特記事項：オーガナイズドセッションを企画予定。

(5) 定例研究会

理事会後に実施する予定

2014 年度生態工学会年次大会について

1. 日時：2014 年 6 月 27 日 (金)～28 日 (土)
2. 会場：プラサ ヴェルデ (〒410-0801 静岡県沼津市大手町 1-1-4)
JR 東海道本線 沼津駅北口下車 徒歩約 3 分



沼津駅北口に 2014 年 7 月に新規オープンする総合コンベンション施設です。オープン前ですが、特別に大会を開催できることになりました。

宿泊は、施設内のダイワロイネットホテルのご利用をお勧めいたします。会場（講演、懇親会）と直結しており利便性が高く、大会に参加される皆様は特別割引料金でご宿泊いただけます。

〔大会事務局よりお願い〕

4 月に新規オープンする本ホテルでは、大会参加者のために優先的に客室が確保されており、近隣ホテルや旅行運営サイトより割安な料金でご宿泊いただけます。ホテルの宿泊数に応じて静岡県東部地域コンベンションビューローの補助制度もありますので、より多くの参加者の皆さんに利用して頂きたいお願い申し上げます。予約方法の詳細や宿泊料金については、2 月末を目途に学会ホームページに掲載します。

3. 行事予定

一般研究発表セッション（口頭発表、ポスター発表）、オーガナイズドセッション、特別講演会、総会、表彰式、懇親会、役員会、その他委員会、エクスカージョン

4. 大会参加費・懇親会費

	大会参加費		懇親会
	事前申込	当日払い	
会 員	¥5,000	¥6,000	¥5,000
非会員	¥6,000	¥7,000	¥6,000
学生会員	¥2,000	¥2,500	¥2,500
非会員学生	¥2,500	¥3,000	¥3,000

5. 締め切り一覧：

内 容	期 日
オーガナイズドセッション企画申込み	2014 年 2 月 22 日
オーガナイズドセッション発表申込み	2014 年 4 月 4 日
一般発表セッション申込み	2014 年 4 月 4 日
発表論文提出	2014 年 5 月 9 日
事前参加費振込み	2014 年 6 月 13 日